

12月度月例句会 会報・HP掲載句

十二月詠草

兼題：顔見世、湯ざめ、当季雑詠

顔見世の屋号飛び交ふお練りかな	清家 静楓
顔見世の鴨の川風まねきかな	大仲 正敏
顔見世や出雲阿国晴れ舞台	森 邦彦
平成の掉尾を飾る顔見世ぞ	安井 正浩
湯ざめして居り黙々と豆腐切る	六川 里風
湯ざめしさう爛は熱めと妻に告ぐ	宮川 至剛
使ひきること信じ十年日記買ふ	城戸崎雅崇
平成の過ぎ行く思ひ大掃除	中山 知祐
赤い実の余りて三つ目雪兎	小野 信
侘しさを水面に映す枯柳	石原 克己
紅残し暮れ行く山の冬日かな	生江沢五風
鱒酒や戯言ぬかし酔ひ深む	佐藤 政百
渡り鳥海のねぐらで骨休め	川田 勝美
紅葉の外れにぽつんと富士の白	眞田 宗興
	以上